



自転車社会の環境改善を目指して No.31

フォールディングを愉しむ

文

特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会 会員
株式会社ジェイ・キャスト

山田 欣作

事務局：〒 141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4 階
TEL 080-3918-2932
URL <http://www.cyclists.jp/>



きっかけは「グルメライド」

幼いころの補助輪が外れたうれしさが記憶の片隅に残っている。私立の男子中学に進んでからは、片道6.5キロの自転車通学をした時期もあった。女子校の脇をなぜか全速力で駆け抜けたことも懐かしい思い出だ。

それ以来、自転車とは縁遠くなっていった。郊外の丘陵地(小田急線百合ヶ丘)に引っ越して、自宅周辺が坂道だらけになってからは自転車に乗るという発想は全くなかった。それがある日突然、実に40年振りのおじさん自転車ライフが始まってしまった。

「佐渡へ行って、海岸線を少し走り、日本海のおいしい魚を食べない? 自転車は貸してあげるから」

昔一緒に自転車通学をした旧友の誘いだ。毎年5月に行われるイベント「佐渡ロングライド」に、初心者向けの40キロコースがあるという。海岸線40キロコースは「グルメライド」とうたわれ、風光明媚で、かつおいそうな響き。

そしていざ出発。アワビの踊り焼きに、地酒、温泉。みな予想を上回る素晴らしさだった。ただ一点を除いては。

40キロくらい何とかなると思い込んでいたが、海岸線の道路はアップ

ダウンの連続で、これは全くの想定外。これには参った。20キロ地点からは今きた道に戻るコースになる。もう一度あのアップダウンを走るのか……。雨も降ってきた、リタイヤするか? でも口惜しい。この葛藤の中、何とか40キロを走破した。体はぐったりしていたが何かすがすがしい。

これがきっかけとなり、趣味に自転車が加わった。佐渡で借りたフラットバーロードを借り続け、週末には多摩川サイクリングロードを走り始めた。

1年近く乗ると、自分の自転車がほしくてたまらない。ロードバイクを購入し、各地のロングライドイベントに参加した。八ヶ岳、沖縄、佐渡(グルメライドではなく一周の210キロコー

ス)、しまなみ海道、安曇野、そしてホノルルにも遠征。仲間とチームジャージも作り、富士、草津などのヒルクライムの大会にも参加した。

大会は実に楽しい。が、何か引っかかっていた。ロードバイクに乗る時はレーパンにビンディングシューズ。見るからに戦闘態勢である。普段は、もっと気楽に走りたい。輪行も面白そうだという気持ちが強くなり、2台目の自転車を購入することにした。クロスバイク、マウンテンバイクと考えたが、フォールディングに決めた。輪行の際、一番手軽に持ち運べるし、電車の中でもあまり他のお客の邪魔にはならなさそう。それに何と云っても容姿が可愛い点にほれ込んだ。



(右) 草津ヒルクライム
(左) ホノルル・センチュリー・ライド



フォールディングバイクで

念願のフォールディングを手に入れたが、どこへ行こうか、プランを立てるのが結構難しい。そんな折、同僚が一都三県にまたがる関東三十六不動巡りをしていると聞いた。

「これだ！関東三十六不動を自転車で回ろう」。そう決めると、悩む必要がなくなり、どう輪行で組み合わせるか、この検討に集中できる。日帰り10回で三十六不動を巡るバスツアーのプランも参考にし、1日の走行距離50キロ前後で3か所くらいを回る日帰り輪行、これを基本に検討に入った。

輪行第1回目は1番札所の雨降山大山寺と2番札所大雄山最乗寺。大山寺は丹沢山系にあり大山豆腐が有名である。最乗寺は南足柄の山の中。自宅から小田急伊勢原まで輪行し、駅前フォールディングを組み立て、大山寺を目指す。途中から登り道になる。ここはヒルクライムのトレーニングコースで有名なヤビツ峠の少し東京寄りに位置する。ミニヤビツの気分でケーブルカー乗り場の少し手前に到着。伊勢原から8キロ。獲得標高は200メートルくらい。ここに自転車を置き、ケーブルカーで大山寺へ。ご朱印帳を購入し、最初のご朱印をもらう。

次に目指すは最乗寺。距離は30キロ。やはり最後は200メートルくらい上らなければならない。ここで2つ目のご朱印をいただき、伊豆箱根鉄道大雄山駅まで戻り、フォールディングをたたくで輪行袋に入れる。そして大雄山線で小田原へ。小田原駅前の寿司屋で一杯やり、小田急で帰った。

その後は必ずしも札所の順番通りではなく回ったが、最終回はやはり36番札所の成田山新勝寺。京成成田駅

まで輪行。新勝寺ではご朱印のほか、36か所すべて回ったことを示す結願証をいただいた。京成成田からは1キロ足らずなので、帰りは海浜幕張まで40キロ近くを走り、海浜幕張公園で東京湾の夕陽を眺め、電車に乗った。

三十六不動を制覇した後はどうするか。調べてみたら坂東三十三観音がある。群馬、栃木、茨城を含む一都六県にまたがり、日帰りでは難しい所もあり、輪行プランに泊りが加わった。ホテルに宿泊する際もフォールディングは適している。チェックインする時はすでに折りたたんで輪行袋に入れており、部屋への持ち込みも何ら問題がない。

輪行を重ねるうちに、慢性の腰痛が消え、体重も減少した。会社業績は随分と上向きになり好調。きっとお不動様と観音様のお蔭に相違ない。

街と街とのつながり

さて、現在である。現役を退きつつとはいえ、会社には毎日出ており、四国八十八か所まで遠征することは難しい。そこで「ランチに自転車で出かける」というプランがひらめいた。

××の欧風カレーがおいしいらしい、××のラーメンがチャンピオンになった。情報をキャッチするとフォールディングに跨る。時には片道10キロくらいになることもある。事務所のある麹町からは、西に10キロで阿佐ヶ谷、南は目黒、東は亀戸、スカイツリーも圏内。片道10キロだと昼休みは2時間必要となるが、これもシニアの特権である。



フォールディングバイクで新たな楽しみ方を実践

成田山新勝寺で36箇所全てのご朱印が揃い、結願証をいただいた

東京の街を走る中で、街と街の距離感、およその位置関係がかなり身についてきた。××はおよそこちらの方向で×キロくらい、自転車で×分くらいだな、という感覚である。電車で移動している時、街と街は別々の「点」であったが、自転車に跨ると、街と街は「面」で繋がっているということが実感できる。東京は広いようで狭い。ただ残念ながら、街と街は車優先の道路で繋がっているにすぎず、自転車が安全に走ることができる道路としては全く繋がっていない。自転車レーンはどこどころにあるものの連続していない。

東京オリンピックを目標に東京を自転車の街にするという構想のもと、「+1LANE PROJECT」が始まっている。これは、東京を世界クラスの自転車先進都市にする第一歩として、都心全域と五輪会場を網羅する自転車レーン網「TOKYOサイクルネットワーク」の整備を提唱するもの。街と街を安全に「面」で繋げる自転車レーンネットワークが整備されれば、自転車の有用性が飛躍的に増すはずだ。そうなれば僕のランチ自転車生活はますます充実するに違いない。 PP

「自転車検定」を始めました



インターネットで、いつでも受験できる「自転車検定」サイトを設けました。無料のお試し検定も行っています。自転車活用推進研究会のホームページ〈<http://www.cyclists.jp/>〉からどうぞ。